

目標達成計画

作成日: 令和 2年 1月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を開催しているが、利用者の状況、地域交流などを説明する報告会になりがちで、意見交換が少ない現状がある。	運営推進会議にて、報告会で終わらず、魅力あるホームを作るため、自由に意見が言える環境を整える。	運営推進会議ではテーマを決めて、意見交換を行う。 ・利用者が食べている食事を試食する。 ・研修で学んだことを実践報告する。 ・広報誌のありかたについて、意見交換する。	1年間
2	10	家族の面会が多いが、利用者が実際に生活している様子を見ることは少ない現状がある。実際に様子を見ることで、ホームに対する新たな意見がでてくるのではと考える。	年に1回、家族が集まれる機会を作り、利用者の生活の様子を見て頂いたり、運営に対して気になることを意見交換することで、ホームの運営に活かしていく。	年に1回、家族会を開催する。 ・家族と一緒に昼食を食べ、利用者の様子を見て頂く。 ・ホームの運営について、家族に報告し、意見交換を行う。	1年間
3	20	馴染みの方と会われたり、場所に行かれた後には、利用者に昔話をしてく等、回想法に繋がられると良いと思いますと助言を受ける。	日常の様子や行事の様子を写真に残し、利用者同士や職員と写真をみながら、コミュニケーションを図ることで、認知症の進行防止、対人交流の促進に繋げていく。	①日常の様子や行事の様子をデジカメで撮影する。②月に1回、写真を印刷し、ファイルに保管する。③利用者とコミュニケーションを図るときは、ファイルを一緒にみながら行い、よい表情や、その時の気持ちを引きだしていく。	1年間
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。